

# 重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

生活環境部

【平成29年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
重点目標	資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成		
1	①資源循環型施設建設に向けた上田地域広域連合との連携及び地元自治会との合意形成 (1) 地元自治会との合意形成に向けた取組の推進 (2) 環境影響の総合的調査と地元への情報提供 ②し尿前処理下水道投入施設建設に向けた地元自治会との合意形成	① (1) 対策連絡会を構成する団体ごとの説明会や意見交換会を実施 (2) 環境影響評価などの調査に着手 ②住民説明会の実施と、課題解決のための具体的対応策を実施	① (1) 対策連絡会との懇談会の実施（5月22日、6月22日）、対策連絡会に対し住民説明会開催を依頼（7月7日） (2) 住民説明会に併せた環境影響評価の説明内容・方法の検討 ②下之条自治会住民説明会の実施（9月17日）、南部終末処理場の緑化整備の実施と臭気対策の検討
重点目標	循環型社会の形成に向けたごみの減量化・再資源化の推進		
2	ごみ処理広域化計画に定められた減量化目標を達成するためのごみ減量推進施策の実施・検討 ①ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 (1) 自治会説明会の開催や、ごみ減量アドバイザー、エコハウスとの協力、食品ロス削減の取組による情報提供・啓発事業 ②「ごみ減量行動計画（アクションプラン）」の策定 ③事業系可燃ごみ減量の推進 ④生ごみの減量化・堆肥化 (1) 「やさいまる」、「生ごみ出しません袋」事業の継続 (2) ごみ減量化機器等の普及促進 (3) 大型処理機による生ごみ堆肥化モデル事業の実施と検証	①可燃ごみの減量目標 前年度比△652 t（△1.9%） ②年内 ③減量目標 前年度比 △232 t（△1.9%） ④(1) 「やさいまる」ポイント交換数：200回 「生ごみ出しません袋」登録：800世帯 (2) 補助台数：400台、配布機材：1,600個 (3) 通年	①可燃ごみ処理量 対前年度同期比△318 t（△1.8%） ごみの減量化・再資源化に関する自治会説明会の実施。240自治会のうち149自治会生ごみ堆肥化推進のため市民団体との共催により、7月に交流会(215人)、9月に講演会(90人)を開催 長野大学との連携による「30・10運動」推進用の啓発用品製作への取組 ②計画の策定について、7月に上田市廃棄物処理審議会へ諮問、9月に第2回審議会を開催 ③事業系可燃ごみ処理量 対前年度同期比△64 t（△1.0%） 事業者団体ヘチラシによる減量協力依頼及び説明会を実施 ④(1) 「やさいまる」事業 乾燥生ごみ回収量：946.3kg、持込者数：延べ404人、ポイント交換数：112回 「生ごみ出しません袋」の無料配布 登録：246世帯 (2) ごみ減量化機器購入費補助機器数：200台、ごみ減量化基材「ばっくん」配布数：370個 (3) 真田及び半過の2地区でモデル事業を実施。生ごみ投入量 真田：1,598kg 半過：973kg
重点目標	地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全		
3	①環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進する第2次環境基本計画の策定 ②公共施設のCO2排出量削減に向けた取り組みの推進 (1) 地球温暖化防止実行計画（第四次エコオフィスうえだ）の策定 ③再生可能エネルギー利活用の推進 (1) 住宅用太陽光発電、太陽熱高度利用システムの普及と効果的な補助制度の検討 ④省エネルギーの推進 (1) 緑のカーテン普及 (2) 市民主体の普及啓発事業支援 ⑤環境保全施策の推進 (1) 全市一斉アレチウリ駆除 (2) 不法投棄防止パトロールの実施	①年度内 ② (1) 年度内 ③ (1) 太陽光250件、太陽熱10件、補助制度の見直し ④(1) 緑のカーテン100件以上 (2) 会議等の支援 ⑤ (1) 6月 (2) 1,150回以上	①環境審議会実施回数 3回、関係課所へ環境指標の確認 ②カーボン・マネジメント強化事業で作成した第四次エコオフィスうえだ（案）に則した、市有施設への新エネ、省エネ設備設置に向けた状況調査の実施 ③(1) 太陽光187件、太陽熱1件 補助制度の見直しは検討中 ④(1) 101件（個人74件、市有施設25件、企業2件） (2) うえだ環境市民会議（環境イベント他8回）、自然エネルギー上小ネットの普及啓発活動（総会他6回）へ参加 ⑤(1) 6月 アレチウリ駆除を実施 自治会連合会と協働（参加：2,555人 駆除：2,470kg） (2) 不法投棄パトロール 389回（8月末現在）
重点目標	犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進		
4	①特殊詐欺等被害防止連絡協議会を開催し、情報交換による効果的な未然防止策の推進 ②特殊詐欺等被害防止対策機器の普及促進 ③防犯意識の高揚と被害防止の推進 ④自治会及び関係機関等と協働した防犯パトロールの実施 ⑤子どもと高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進	①特殊詐欺等連絡協議会2回 ②補助台数160台 ③地域安全運動 年4回実施 ④駅前パト25回、青パト210回 ⑤交通安全教室50回以上実施 高齢者及びウォーキング団体等へ夜光反射材の配布	①特殊詐欺等連絡協議会(10月16日開催、平成30年2月開催予定) ②補助台数23台 ③地域安全運動 2回実施 ④駅前パトロール21回延べ642人、青色回転灯防犯パトロール100回、千本桜まつり夜間パトロール5回延べ195人、夏祭り駅前パトロール2回延べ250人 ⑤交通安全教室を62回実施、出前講座等で夜行反射材を配布
重点目標	市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上		
5	①市営住宅等長寿命化計画の策定及び住環境整備の推進 (1) 上田市市営住宅等長寿命化計画の策定 (2) 耐用年数のある3団地（岩門、古里、下之郷桜）の耐震診断実施 (3) 給湯、給水整備事業の実施 ②住宅使用料の収納率の向上 (1) 現年度分収納率 95%以上、滞納繰越分収納率 過去3年間の実績平均以上 (2) 誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組	①(1) 年度内 (2) 12月末 (3) 中丸子団地2棟24戸（継続） 【再掲：丸子地域自治会C】 ② (1) 現年度95%以上、滞納繰越分13.9%以上 (2) 催告書、連帯保証人への送付と法的措置を視野に入れた取組	①(1) 5月末に計画策定のための委託契約を締結。庁内検討委員会5回【予定】のうち2回終了 (2) 地質調査、外観調査等を実施したところ、3団地とも耐震性能が不足していることが9月末に判明 (3) 9月中旬に工事発注済（工期は来年1月末） ②(1) 現年度分41.6%（対前年度同期比+0.9%）・滞納繰越分5.4%（対前年度同期比△3.7%） (2) 滞納者への催告書、連帯保証人への協力依頼通知書の送付及び訴訟対象者との交渉を積極的に実施

※ 評価基準 [◎：目標を上回る進捗] [○：目標どおり進捗] [△：未進捗の部分あり] [×：全て目標未進捗]

## 市長指示事項

- ・資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成については、全力で取り組むこと。
- ・食品ロス削減に向けた啓発を工夫すること。